

東北沖の海底下に広がる地震発生の現場。地震前、地震時、そして地震後に何がおこったのか？

日本測地学会公開講座

最新テクノロジーで探る 東北地方太平洋沖地震の現場

—海底、陸上、宇宙から—

最新の地球観測テクノロジーを駆使して、海底・陸上・宇宙から全貌の解明を目指す研究や、減災に活かす取り組みについて紹介する。

日 時

平成 24 年

11月3日 土 祝 13:30 ▶ 16:00
(開場 13:00)

会 場

東北大学片平さくらホール
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1

対 象

どなたでも (主に高校生以上)

**入場
無料**

内 容

- 東北沖地震とその前後で海底はどう動いたか
東北大学災害科学国際研究所 教授 藤本 博己
- 東北沖地震の前に起こったこと：
8年前、2日前、そして1時間前
北海道大学大学院理学研究院 教授 日置 幸介
- 測地観測を減災に活かす
—津波予測システムの構築—
東京大学地震研究所 教授 三浦 哲



主 催 日本測地学会
共 催 東北大学大学院理学研究科
東北大学災害科学国際研究所

お問い合わせ 東北大学大学院理学研究科
地震・噴火予知研究観測センター
電話 022-225-1950 (伊藤・内田)